

## 中止

## 第1期

特集:中村光哉 季節をうつす友禅

2020年4月11日(土)ー6月14日(日)

休館日:5月11日(月)、6月1日(日)

横須賀の港の風景を友禅の技法で表現した、染色作家・中村光哉(1922-2002)。横須賀を描いた友禅の屏風やスケッチなどをご紹介します。



中村光哉《好日》1989年、当館蔵

## 第2期

特集:川端実

2020年6月20日(土)ー9月13日(日)

休館日:7月6日(月)、8月3日(月)、9月7日(月)

ニューヨークを舞台に舞躍した抽象画家・川端実(1911-2001)。当館の川端実コレクションから、初公開作品を含め、その画業をご紹介します。



川端実《機械》1954年、当館蔵

## 第3期

浦賀奉行所開設300周年記念事業  
長島雪操展

2020年9月19日(土)ー12月13日(日)

休館日:10月5日(月)、11月9日(月)、12月7日(月)

幕末から明治にかけ、八幡久里浜村の名主をつとめながら、俳人、文人画家として活動した長島雪操(1818-96)の作品を紹介します。浦賀奉行所開設以来、300年の歴史の豊かさを顧みる展覧会です。



長島雪操《梅花図》1892年、個人蔵

## 第4期

特集:島田章三

2020年12月19日(土)ー2021年4月4日(日)

休館日:12月29日(火)ー1月4日(月)、  
2月1日(月)、3月1日(月)

洋画家・島田章三(1933-2016)の初期から晩年の作品を当館コレクションにより特集展示し、その画業を改めてご覧いただきます。



島田章三《いけばな展示会》2011年、当館蔵

## 谷内六郎館／別館 TANIUCHI Rokuro Pavilion

## &lt;週刊新潮 表紙絵&gt;展

## きょうも泣き笑い

2020年4月11日(土)ー6月14日(日)

中止

《お山も半刈り》1960年、当館蔵  
©Michiko Taniuchi

## 開館時間

10:00-18:00

## 休館日

\*毎月第1月曜日(祝日の場合は開館)

\*年末年始 12月29日-1月3日

\*臨時休館日 5月11日(月)、11月9日(月)

## 観覧料

[所蔵品展 谷内六郎館] 一般 380(300)円

高校生・大学生・65歳以上の方 280(220)円

[企画展] 各展覧会によって異なります。中面の各展覧会欄をご覧ください。

[企画展のチケットで、所蔵品展・谷内六郎館を無料でご覧いただけます]

\*( )内は20名以上の団体料金、または前売券料金

\*次の方は所蔵品展、谷内六郎館および企画展がすべて無料です。

・中学生以下

・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と  
介助される方1名

・高校生(市内に在住または在学に限る)

・教育活動で小・中学生など団体を引率される方

## 無料観覧日

11月3日(文化の日)、

2021年2月14日(市制記念日(2月15日)に直近の日曜日)

## 交通のご案内

■電車をご利用の場合

\*京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から観音崎行きバスで  
「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前」下車徒歩2分

\*京急線「浦賀」駅から観音崎行きバスで終点「観音崎」下車徒歩5分

■車をご利用の場合

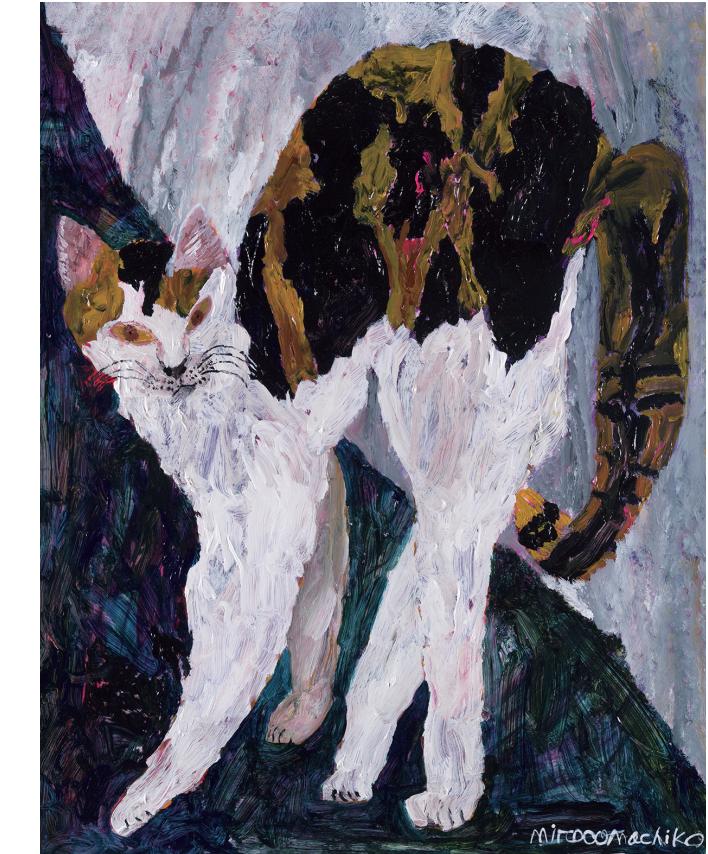
\*横浜横須賀道路馬堀海岸 I.C. から約3km(約5分)

■駐車場 8:00-22:00 無休

普通自動車 (120台)	最初の1時間320円 以降160円/30分 上限1,600円/日 (展覧会ご観覧の方は1時間無料)
自動二輪車・ 原動機付自転車	1回210円(展覧会ご観覧の方は無料。自転車は無料)
バス等	1回1,570円(事前の予約が必要です。詳しくはお問い合わせください)

\*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料。(清算時にご提示ください)

「横須賀応援ふるさと納税」で横須賀美術館をご支援ください。  
詳しくは→ <https://www.yokosuka-moa.jp/oshirase/furusato.html>

[https://twitter.com/yokosuka\\_moa](https://twitter.com/yokosuka_moa)<https://www.facebook.com/yokosukamoa/><https://www.facebook.com/rokurokan/>  
(谷内六郎館)横須賀美術館  
YOKOSUKA MUSEUM OF ART〒239-0813 横須賀市鶴居4-1 TEL:046-845-1211  
PC: <https://www.yokosuka-moa.jp/>  
MOBILE: <http://mobile.yokosuka-moa.jp/>

ミロコマチコ《神のミケ猫》2018年、作家蔵

Exhibition Schedule 2020 April – 2021 March

## 展覧会スケジュール

2020年4月-2021年3月

## 谷内六郎館／別館 TANIUCHI Rokuro Pavilion

## &lt;週刊新潮 表紙絵&gt;展

## きょうも泣き笑い

2020年4月11日(土)ー6月14日(日)

中止

《お山も半刈り》1960年、当館蔵  
©Michiko Taniuchi

## 新潮社とのお仕事 あれこれ

2020年6月20日(土)ー9月13日(日)

## ふくらむイメージ、あふれるユーモア

2020年9月19日(土)ー12月13日(日)

## 花図鑑

2020年12月19日(土)ー2021年4月4日(日)

2020.4 → 2021.4 休館日	4 6(月)	5 11(月)	6 1(月)	7 6(月)	8 3(月)	9 7(月)	10 5(月)	11 9(月)	12 7(月)、29-31	1 1-3.4(月)	2 1(月)	3 1(月)	4 5(月)
企画展	マルク・シャガール展 4月25日(土)▶6月21日(日)	ミロコマチコ 7月4日(土)▶8月30日(日)	上田薰展 9月12日(土)▶11月3日(火・祝)	倉重光則+天野純治展 11月14日(土)▶12月25日(金)	児童生徒 造形作品展 1月9日(土)▶25日(月)	ヒコーキと美術 2月6日(土)▶4月11日(日)							
所蔵品展	第1期 特集:中村光哉「季節をうつす友桜」 4月11日(土)▶6月14日(日)	第2期 特集:川端実 6月20日(土)▶9月13日(日)	第3期 特集:浦賀春行所蔵300周年記念事業「長島雪彦展」 9月19日(土)▶12月13日(日)	第4期 特集:島田春三 12月19日(土)▶4月4日(日)									
谷内六郎館(週刊新潮表紙絵)展	きょうも泣き笑い 4月11日(土)▶6月14日(日)	新潮社とのお仕事「あれこれ」 6月20日(土)▶9月13日(日)	ふくらむイメージ「あふれるユーモア」 9月19日(土)▶12月13日(日)	花図鑑 12月19日(土)▶4月4日(日)									

Marc Chagall from the collection of Utsunomiya Museum of Art

宇都宮美術館コレクションによる

中止

マルク・シャガール展

2020年4月25日(土)ー6月21日(日) 休館日:5月11日(月)、6月1日(月)

豊かな色彩で幻想的な世界を描いたマルク・シャガール(1887-1985)は20世紀を代表する画家のひとりです。本展では、国内屈指の20世紀美術コレクションを誇る宇都宮美術館が所蔵する油彩画と版画約160点により、その豊饒なる絵画世界をご覧いただきます。

観覧料 一般:1000(800)円

高大生、65歳以上:800(640)円



宇都宮美術館外観

Kurashige Mitsunori/Amano Junji

倉重光則+天野純治展

2020年11月14日(土)ー12月25日(金) 休館日:12月7日(月)

正方形の四辺の一部分にネオン管を組み合わせ、人工的な光による空間をつくり上げる倉重光則(1946-)と、近年はシリクスクリーンの版を用いて、「色彩の物質化」のような絵画作品を手掛ける天野純治(1949-)による二人展です。

観覧料 一般:1000(800)円 高大生、65歳以上:800(640)円



倉重光則《光と物の間》2010年、作家蔵



天野純治《Field of water 013015》2013年、作家蔵

mirocomachiko:Creatures are my mirror

ミロコマチコ

いきものたちはわたしのかがみ

中止

2020年7月4日(土)ー8月30日(日) 休館日:7月6日(月)、8月3日(月)

デビュー絵本『オオカミがとぶひ』(2012年、イーストプレス)が、第18回日本絵本賞大賞を受賞し、その後も主要な絵本賞を連続受賞している画家・絵本作家ミロコマチコ(1981-)の展覧会。「ミロコマチコとは何者なのか?」をテーマとして、絵画、絵本原画、書籍の挿画、立体、資料など約200点により、その魅力に迫ります。

観覧料 一般:1100(880)円

高大生、65歳以上:900(720)円



ミロコマチコ《ドラゴンフルーツの花の子》  
2018年、作家蔵

Student's Art & Model Exhibition

第73回

児童生徒造形作品展

2021年1月9日(土)ー1月25日(月)

横須賀市立の幼・小・中・高・ろう・養護、すべての学校園の子どもたちによる作品展。日頃の授業でつくり上げた平面作品や立体作品など約3,000点の展示を通して、子どもたちの制作意欲や作品への思いをお楽しみください。

観覧料  
無料



第72回展示風景

\*会期や展覧会名、内容は変更になることがあります。\*観覧料:( )内は20名以上の団体料金または前売券料金

Ueda Kaoru

上田薰展

2020年9月12日(土)ー11月3日(火・祝) 休館日:10月5日(月)

上田薰(1928-)は、殻を割った瞬間の、つるりと流れ落ちる卵の姿を捉えた「なま玉子」シリーズで広く知られる画家です。精緻に表現された生卵、ジャム、シャボン玉や空などの代表作約60点を中心に、初期から2000年代まで、半世紀に及ぶこの画家の歩みをたどります。

観覧料 一般:1000(800)円

高大生、65歳以上:800(640)円



上田薰《なま玉子A》1975年、  
群馬県立近代美術館蔵

Arts in the times of Aircraft

ヒコーキと美術

2021年2月6日(土)ー4月11日(日) 休館日:3月1日(月)、4月5日(月)

1912年、追浜海岸で海軍による初飛行が行われてから、1945年の終戦まで、横須賀には飛行機との深い関わりがありました。この展覧会では、ヒトの能力を著しく拡張することになった飛行機に着目し、それがもたらした光と影について、美術の視点から考察します。

観覧料 一般:1000(800)円 高大生、65歳以上:800(640)円



川端龍子《香炉峰》1939年、大田区立龍子記念館蔵